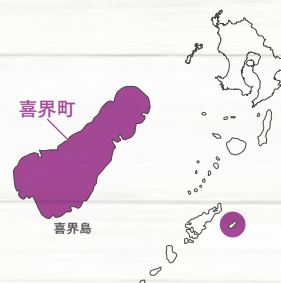


喜界町 *Kikai Town*

キラリと輝くいい島

本町は、鹿児島から南へ約380km、大島本島の東方約25kmの洋上に浮かぶ周囲48.6kmの島です。温暖な気候で一年を通して花が咲き誇り、優雅な舞いを見せるオオゴマダラや旅をする蝶・アサギマダラなどが多く見られる蝶の楽園です。また、喜界島は現在でも平均すると年間2mmほど隆起を続ける世界でも有数の隆起速度を持つ「隆起サンゴ礁の島」です。小学校跡地を利用してNPO法人「喜界島サンゴ礁科学研究所」も設置され、研究や教育、環境保護活動を積極的に行っています。



人口:7,212人 面積:56.94km²
〒891-6292 大島郡喜界町湾1746番地
TEL0997-65-1111
<https://www.town.kikai.lg.jp/>

移住支援制度については本誌p27-28「移住定住支援制度 & 一覧表」をご覧ください。



スギラビーチ (写真は夕日に包まれての野外音楽フェスティバル)

天然の入江を利用した海水浴場。サンゴのリーフに囲まれており波が静かで、入江を出るとダイビングスポットも控え、気軽にトライできます。



巨大ガジュマル

手久津久集落にある大きなガジュマル。太い幹から四方に広がる枝ぶりは壮観で、島のパワースポットのひとつ。



石垣小径

中熊集落にある小径。隆起サンゴ礁の島「喜界島」は昔からサンゴを石垣として利用。この小径は昔ながらの雰囲気を保っている貴重な場所です。



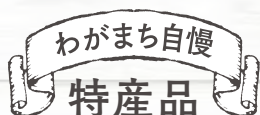
ソーメンガブー

中里集落に昔から伝わる伝統行事。この日ばかりは無礼講と老若男女が入り乱れて、そうめんを奪い合う。そうめんを持ち帰り食べることで無病息災を願います。



オオゴマダラの群生

蝶の楽園・喜界島は「南の島の貴婦人」の異名を持つオオゴマダラの保護条例を制定し、保護しています。また、旅する蝶アサギマダラの中継地としても有名です。



黒糖

喜界島の黒糖は甘みと風味が良く、昔から奄美群島1番との評価を得ています。現在でも多くの製糖工場が製法と原料にこだわった黒糖をつくり続けています。



黒糖焼酎

奄美群島のみ製造が許されているのが黒糖焼酎。喜界島では「朝日酒造」と「喜界島酒造」の2社があり、島内外多くのファンに愛される焼酎をつくり続けています。



野菜や果物

隆起サンゴ礁の島でつくられる農作物はどれもミネラルたっぷり美味。トマトやマンゴー、パッションフルーツなど旬を迎えた色とりどりの野菜や果物が一年を通して島を彩ります。